

諏訪湖だより

クリーンレイク諏訪版



第8号 (H27.2月発行)

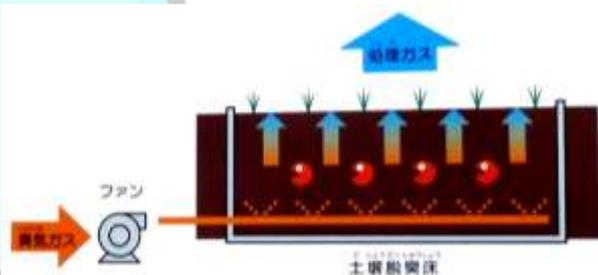
今月のトピックス

① 水処理棟屋上土壌脱臭設備の修繕を行いました。

豊田終末処理場の水処理棟の屋上には芝生で覆われたエリアがあります。このエリアには水処理棟内で発生した臭気を分解・脱臭するための土壌脱臭設備が設置されています。一見ただの土壌に見えますが、実際は色々な材質が混ざっており、その中にはたくさんの微生物が存在しています。

水処理棟では下水を処理しているため、どうしても臭気が発生してしまいますが、臭気ガスがこの土壌を通過することによって、微生物が臭いの元となる物質（アンモニアや硫化水素）を分解してくれます。

豊田終末処理場では、定期的に脱臭設備の土壌を入れ替えることによって、微生物が良く生育できるような条件を整え、脱臭効果を維持しています。また臭気を輸送するための臭気ダクトなどの修繕も同時に行っています。今年度は平成26年9月～12月に写真の赤丸で囲われた部分の土壌脱臭設備の修繕を行いました。



土壌脱臭設備

今年度の修繕箇所



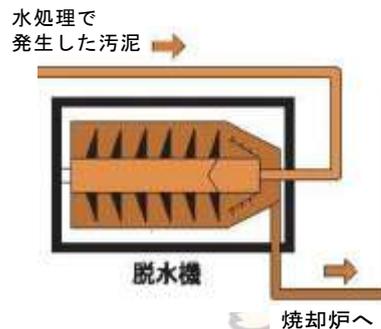
土壌中には不織布が敷いてあり、土壌が陥没するのを防いでいます。

② 汚泥脱水機を分解整備しました。

平成26年10月から平成27年1月にかけて、水処理で発生した汚泥を脱水する「汚泥脱水機」を分解整備しました。



1号汚泥脱水機



水分を多く含んだ汚泥を脱水機で処理すると、水分がとれて「脱水ケーキ」ができあがります。これを焼却炉で焼却します。

脱水機は高速回転しており、遠心力で汚泥の固形分と水分を分けています。

脱水機は高速回転しているので、長い間運転していると、部品が削れたり、ひびが入ったりします。また、ゆがみが生じスムーズに回転しなくなり振動することもあります。今回の分解整備では、部品を取り替えたり、すき間を調整することにより、振動の少ない、よりよい状態で運転できるように整備しました。



カバーの吊り上げ作業



回転体外側（ボウル）の分解状況



回転体内側（羽根）の整備状況

平成27年1月14日に処理場周辺清掃（武井田川・鴨池川・処理場前諏訪湖畔のゴミ拾い）を行いました。

《集まったゴミ》

1月14日

空き缶（アルミ）	5本
空き缶（スチール）	10本
ビン	3本
可燃ごみ	1/3袋（90Lごみ袋）
ペットボトル	10本

